



PARAMOUNT BED
HOLDINGS

2022年3月期 決算説明会

2021年4月1日 ~ 2022年3月31日

2022年5月19日

証券コード：7817

パラマウントベッドホールディングス株式会社

as human, for human

新型コロナウイルス感染拡大、 円安・原材料高・半導体不足等の影響

新型コロナウイルス・半導体等資材調達の影響は結果としては軽微。
足元の円安・原材料高については相当な影響。10/1に価格改定を予定。
半導体不足については今後も注視。

2022年3月期実績・2023年3月期予算

会計基準変更の影響も、売上・利益とも過去最高を更新。

パラマウントビジョン2030

次期（第Ⅱフェーズ）中期経営計画の目標を公表

ビジョン第Ⅰフェーズの業績目標を2022年3月期に超過。
今後は第Ⅰフェーズ重点施策の確実な実行とともに
第Ⅱフェーズの方向性を視野に入れた活動を。
第Ⅱフェーズ最終年（2027年3月期）売上1,200億・営業利益170億を。

1. 2022年3月期 決算概要
2. 事業別概要
3. 2023年3月期 見通し
4. 中期経営計画 第IIフェーズの目標について
5. トピックス

1. 2022年3月期 決算概要

1-1. 決算概要

増収増益決算、売上・利益とも過去最高を更新

期末配当を2円増配。年間配当金は実質6.8%増。

※1:10月28日修正発表。 (単位: 百万円)

	2021年3月期	2022年3月期			
	実績	予算※1	実績	予算比	前期比※2
売上高	87,171	83,200	90,352	+8.6%	-
営業利益 (営業利益率)	11,582 (13.3%)	11,800 (14.2%)	12,340 (13.7%)	+4.6%	+6.5%
経常利益 (経常利益率)	13,461 (15.4%)	12,550 (15.1%)	13,543 (15.0%)	+7.9%	+0.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (純利益率)	8,611 (9.9%)	8,650 (10.4%)	9,092 (10.1%)	+5.1%	+5.6%
年間配当金※3	103円	-	55円	-	実質+6.8%

※2:2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、売上高は対前期増減率は記載していません。

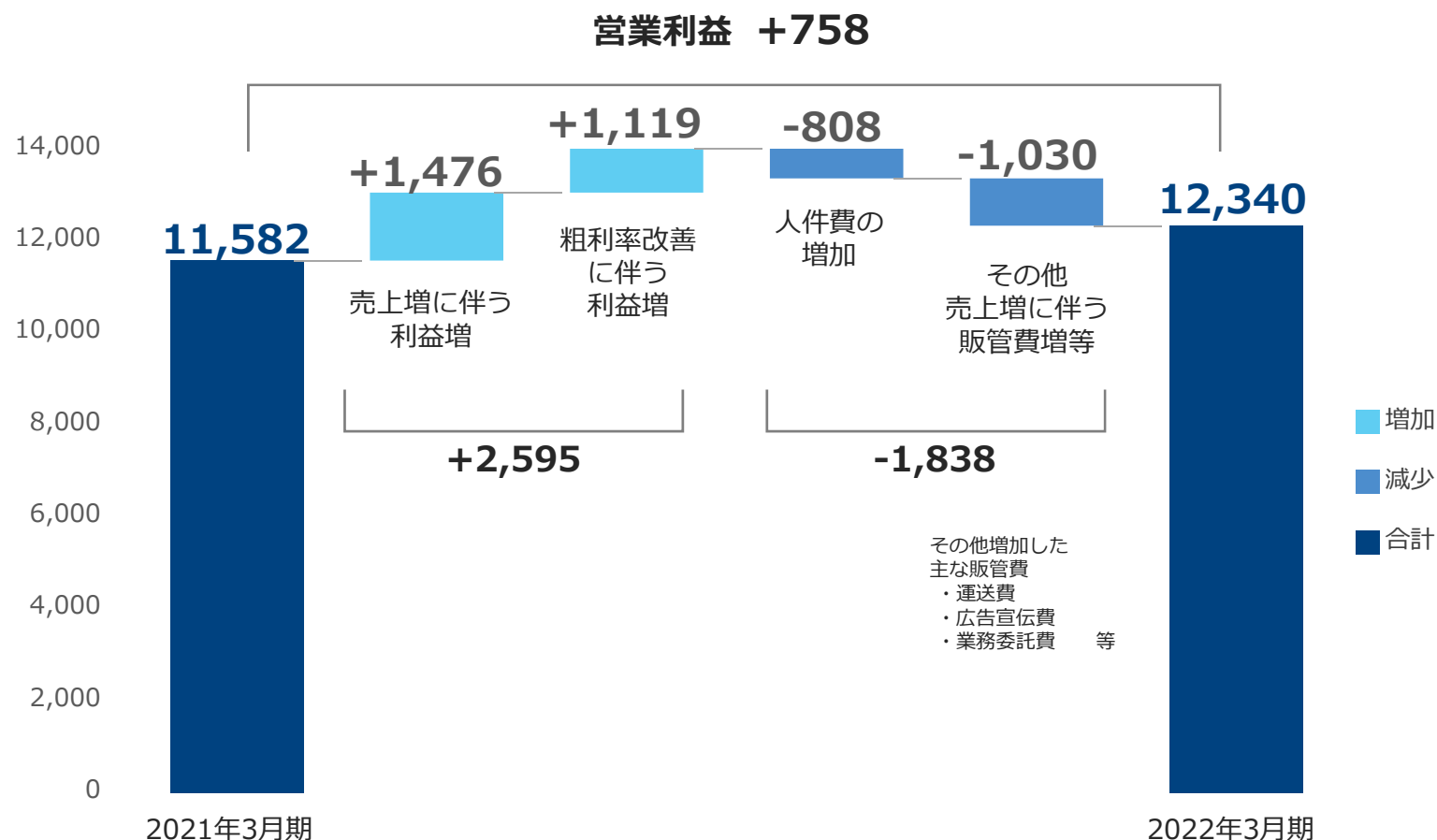
※3:2021年4月1日を効力日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。2021年3月期の実績は分割前の実数を記載しています。

1-2. 営業利益増減要因

販管費増も7.5億増益

販管費増は運送費等の増加や将来に向けた環境整備等。

(単位：百万円)



1-3. 財務の状況

純資産78億53百万円増

(単位：百万円)

	2021年3月末	2022年3月末	増減額	前期比
流動資産	86,144	94,035	+7,891	+9.2%
固定資産	68,213	70,246	+2,033	+3.0%
資産合計	154,358	164,281	+9,923	+6.4%
流動負債	23,720	25,387	+1,667	+7.0%
固定負債	16,814	17,218	+404	+2.4%
負債合計	40,535	42,606	+2,071	+5.1%
純資産	113,822	121,675	+7,853	+6.9%
負債・純資産合計	154,358	164,281	+9,923	+6.4%

2. 事業別概要

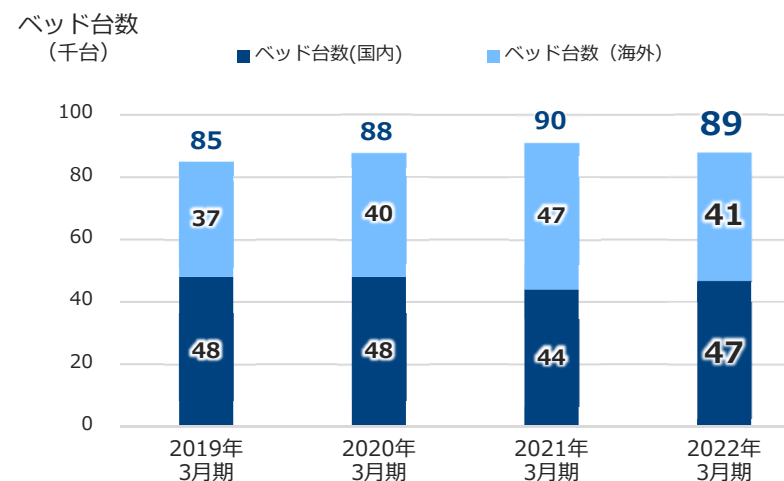
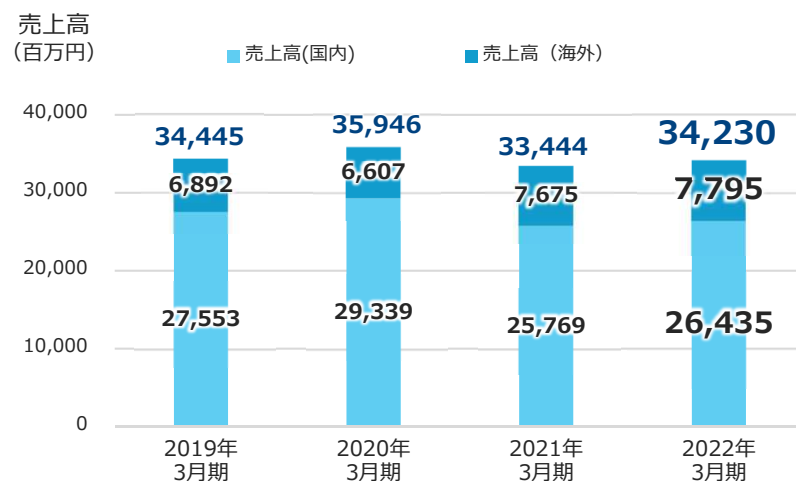
2-1. 医療事業実績

リカーリング ビジネスが拡大

国内で収益が改善した
医療機関が増加。
病院向けレンタル・常駐
サービスが拡大。
海外は特需反動も。

(単位：百万円)	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	前期比
				実績	
売上高	34,445	35,946	33,444	34,230	-
国内	27,553	29,339	25,769	26,435	-
海外	6,892	6,607	7,675	7,795	-

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)					
ベッド販売台数	85	88	90	89	-2%
国内	48	48	44	47	+8%
海外	37	40	47	41	-11%



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、売上高の対前期増減率は記載していません。

2-2. 介護事業実績

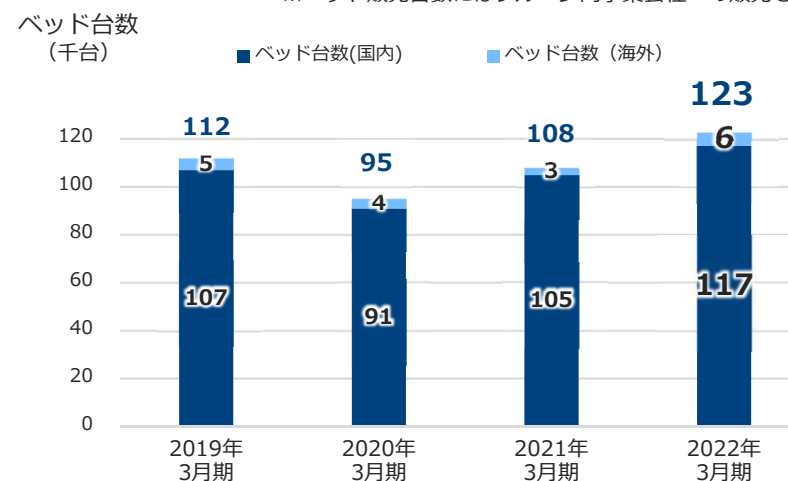
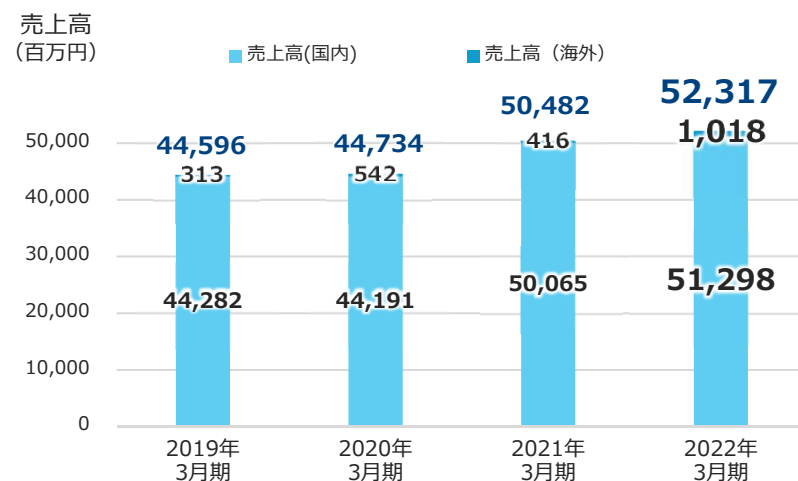
販売・レンタルとも 引き続き順調

在宅向け主力モデルの
新製品効果持続。
レンタル卸も順調（稼働
台数18.2万台）。
海外はシンガポールの介護
施設向け大型案件が寄与。

(単位：百万円)	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	
				実績	前期比
売上高	44,596	44,734	50,482	52,317	-
国内	44,282	44,191	50,065	51,298	-
海外	313	542	416	1,018	-

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)					
ベッド販売台数	112	95	108	123	+14%
国内	107	91	105	117	+11%
海外	5	4	3	6	+103%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、売上高の対前期増減率は記載していません。

2-3. 健康事業実績

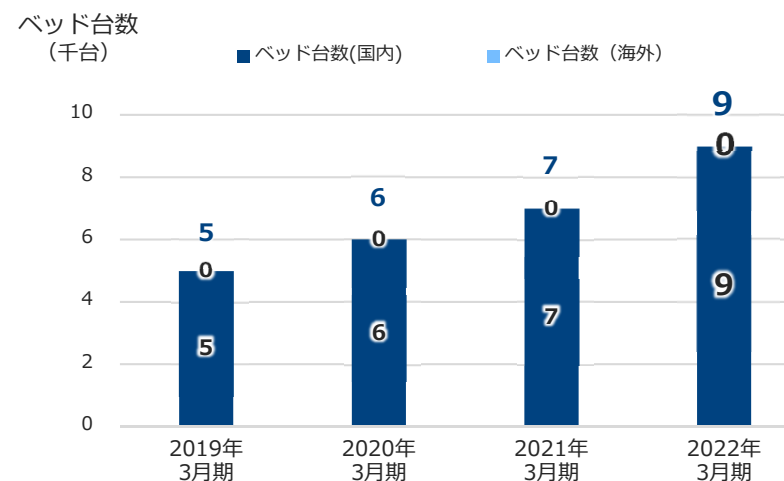
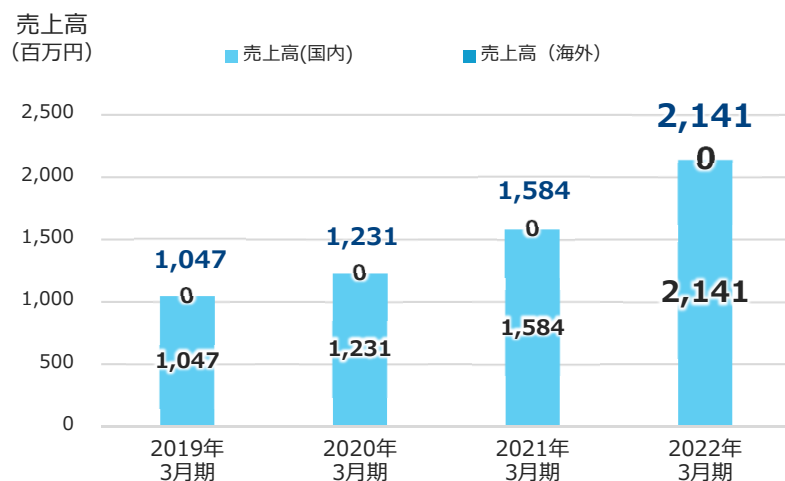
実質35%増

昨年9月発売の新製品
「INTIME3000」も寄与。
テレビ・ラジオ・SNSの
ほか、各種イベント等
PRを強化。

(単位：百万円)	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	
				実績	前期比
売上高	1,047	1,231	1,584	2,141	-
国内	1,047	1,231	1,584	2,141	-
海外	0	0	0	0	-

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)

ベッド販売台数	5	6	7	9	+25%
国内	5	6	7	9	+25%
海外	0	0	0	0	0%



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、売上高の対前期増減率は記載していません。

2-4. 事業別実績一覧

ベッド台数はトータルで7%増の22万台

売上高

(単位：百万円)

		2021年 3月期	2022年 3月期	
		実績	実績	前期比
医療事業		33,444	34,230	-
	国内	25,769	26,435	-
	海外	7,675	7,795	-
介護事業		50,482	52,317	-
	国内	50,065	51,298	-
	海外	416	1,018	-
健康事業		1,584	2,141	-
	国内	1,584	2,141	-
	海外	0	0	-
その他		1,659	1,662	-
合計		87,171	90,352	-

ベッド販売台数

(単位：千台、千台未満四捨五入)

		2021年 3月期	2022年 3月期	
		実績	実績	前期比
医療事業		90	89	-2%
	国内	44	47	+8%
	海外	47	41	-11%
介護事業		108	123	+14%
	国内	105	117	+11%
	海外	3	6	+103%
健康事業		7	9	+25%
	国内	7	9	+25%
	海外	0	0	0%
その他		—	—	—
合計		205	220	+7%

※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、売上高の対前期増減率は記載していません。

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。

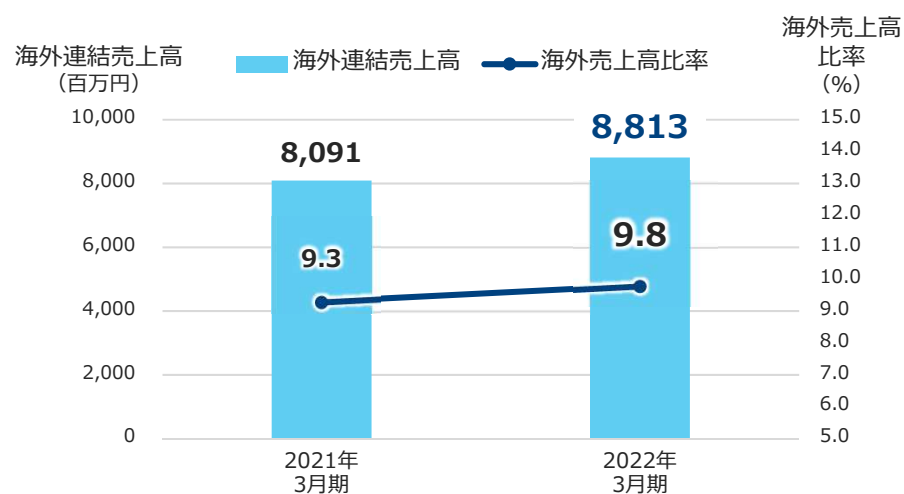
2-5. 海外地域別売上高

特需反動を他地域でカバー

中国は高機能ベッドを中心に需要回復傾向。

その他アジアでは、インド・シンガポールを中心に拡大。

(単位：百万円)	2021.3	2022.3	前期比
海外連結売上高	8,091	8,813	-
海外売上高比率	9.3%	9.8%	-



地域別海外連結売上高

(単位：百万円)	2021.3	2022.3	前期比
アジア	6,914	7,923	-
インドネシア	3,057	2,772	-
中国	2,199	2,803	-
その他アジア	1,656	2,346	-
中東	222	68	-
中南米	808	227	-
その他	147	595	-

※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、売上高の対前期増減率は記載していません。

3. 2023年3月期 通期見通し

3-1. 通期見通し

増収増益予算

2円増配を見込む。

(単位：百万円)

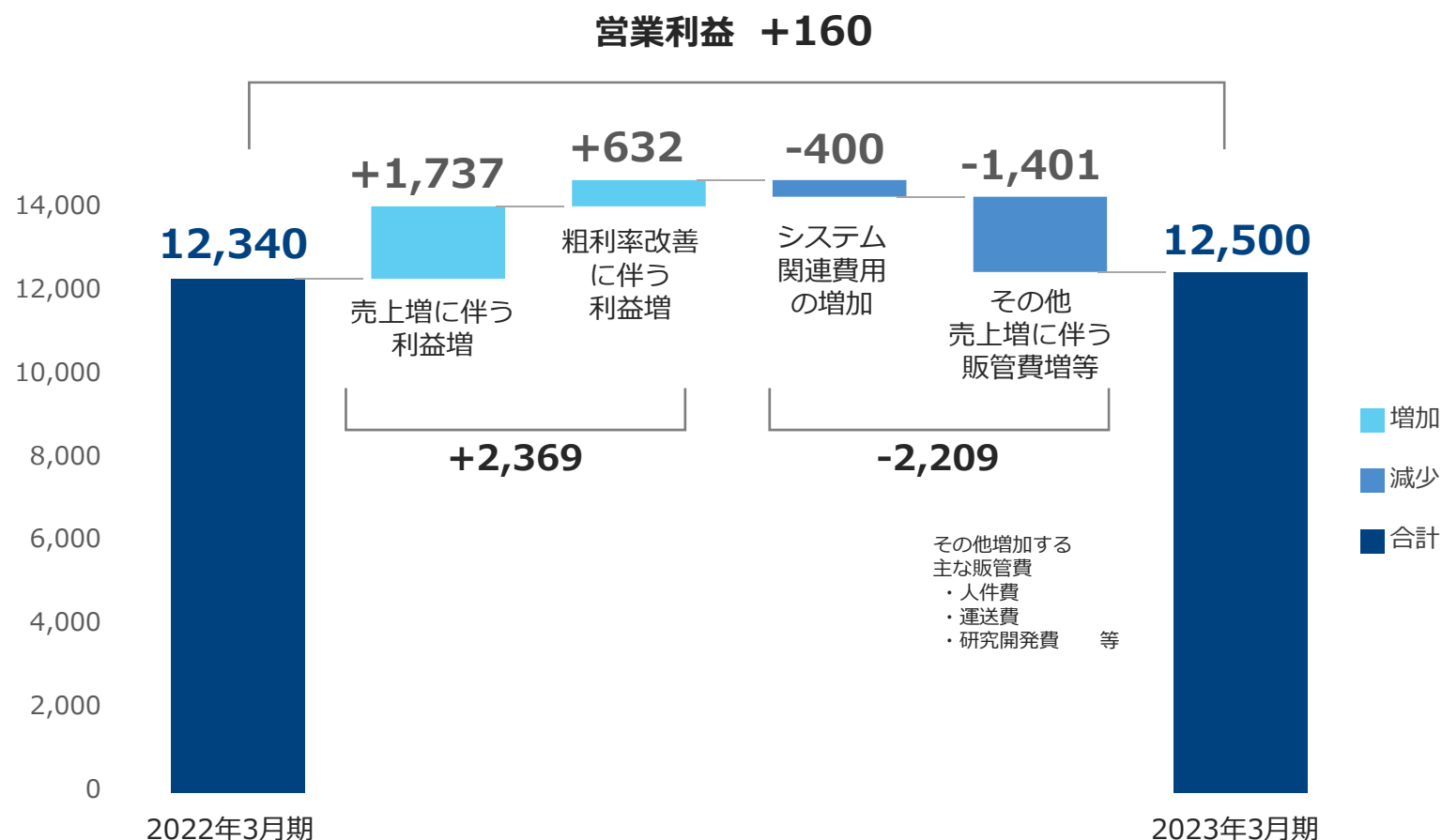
	2022年3月期	2023年3月期			
	実績	上期	下期	通期見通し	前期比
売上高	90,352	42,700	51,300	94,000	+4.0%
営業利益 (営業利益率)	12,340 (13.7%)	4,700 (11.0%)	7,800 (15.2%)	12,500 (13.3%)	+1.3%
経常利益 (経常利益率)	13,543 (15.0%)	4,900 (11.5%)	8,000 (15.6%)	12,900 (13.7%)	-4.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (純利益率)	9,092 (10.1%)	3,300 (7.7%)	5,500 (10.7%)	8,800 (9.4%)	-3.2%
年間配当金	55円	28円	29円	57円	+3.6%

3-2. 営業利益増減要因

将来の成長に向けた活動を積極的に展開

営業利益は上期は前期比マイナスも通期では増益。

(単位：百万円)



3-3. 医療事業見通し

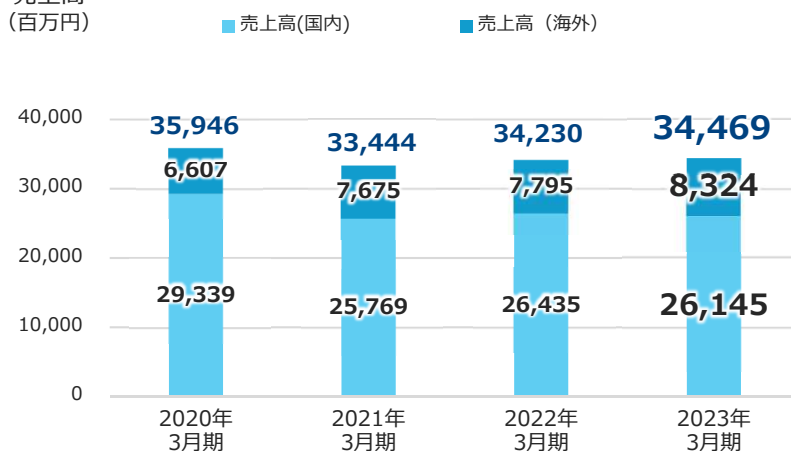
海外大型市場を拡大

国内は台数減予算も
リカーリングを拡大。
海外はインドネシア・中国
・インド等の大型市場を
中心に伸ばす。

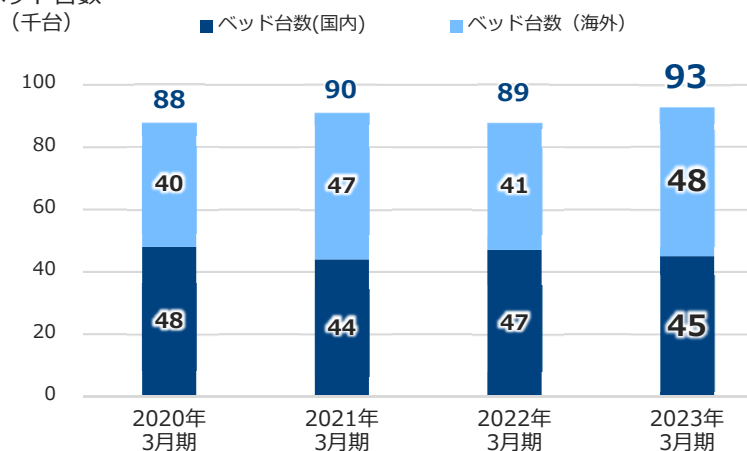
(単位：百万円)		2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	
					見通し	前期比
売上高		35,946	33,444	34,230	34,469	+1%
	国内	29,339	25,769	26,435	26,145	-0%
	海外	6,607	7,675	7,795	8,324	+7%

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)						
ベッド販売台数		88	90	89	93	+4%
	国内	48	44	47	45	-5%
	海外	40	47	41	48	+15%

売上高
(百万円)



ベッド台数
(千台)



3-4. 介護事業見通し

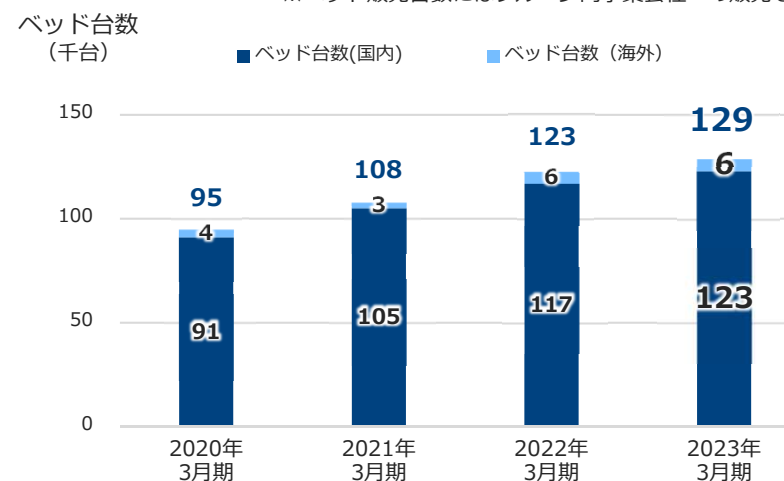
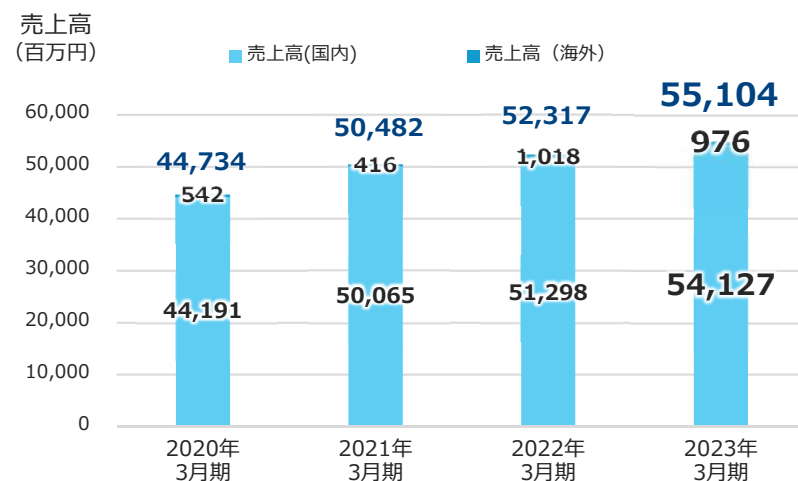
施設向け・在宅向け ともに拡大

レンタルは堅調を維持。
在宅向けは3月発売の
新製品が通年寄与。
施設向けは眠りSCANの
市場浸透に注力。

(単位：百万円)	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	前期比
				見通し	
売上高	44,734	50,482	52,317	55,104	+5%
国内	44,191	50,065	51,298	54,127	+6%
海外	542	416	1,018	976	-4%

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)					
ベッド販売台数	95	108	123	129	+5%
国内	91	105	117	123	+5%
海外	4	3	6	6	+10%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。



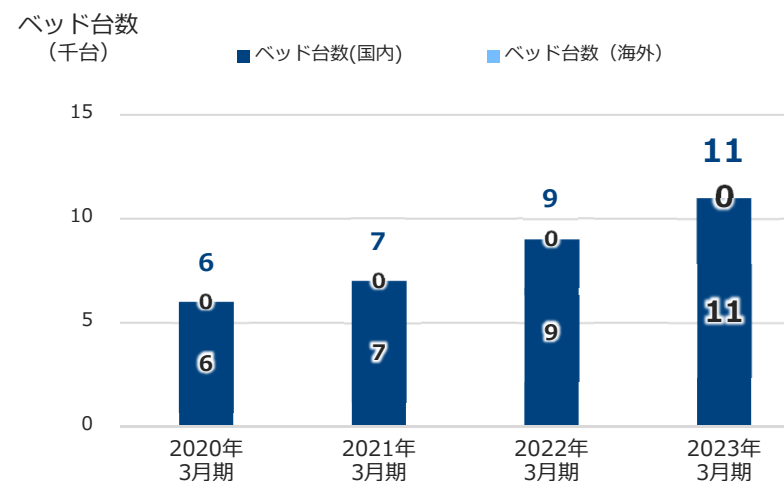
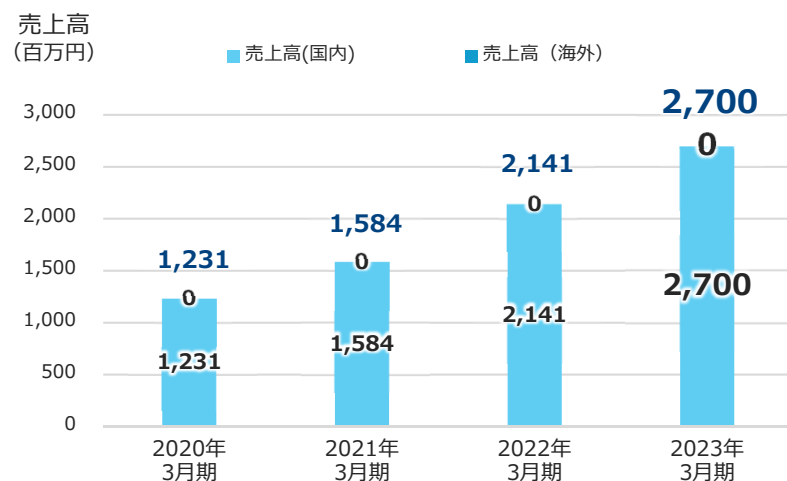
3-5. 健康事業見通し

前期比プラス26%

「INTIME3000」が
通年寄与。
引き続きPR強化。
各種イベントを増加。
ユーザー満足向上施策、
販売店関係強化施策等
を実施。

(単位：百万円)	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	
				見通し	前期比
売上高	1,231	1,584	2,141	2,700	+26%
国内	1,231	1,584	2,141	2,700	+26%
海外	0	0	0	0	0%

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)					
ベッド販売台数	6	7	9	11	+23%
国内	6	7	9	11	+23%
海外	0	0	0	0	0%



3-6. 事業別一覧

ベッド台数はトータルで6%増の23.3万台

売上高

(単位：百万円)

		2022年 3月期	2023年 3月期	
		実績	見通し	前期比
医療事業		34,230	34,469	+1%
	国内	26,435	26,145	-0%
	海外	7,795	8,324	+7%
介護事業		52,317	55,104	+5%
	国内	51,298	54,127	+6%
	海外	1,018	976	-4%
健康事業		2,141	2,700	+26%
	国内	2,141	2,700	+26%
	海外	0	0	0%
その他		1,662	1,726	+4%
合計		90,352	94,000	+4%

ベッド販売台数

(単位：千台、千台未満四捨五入)

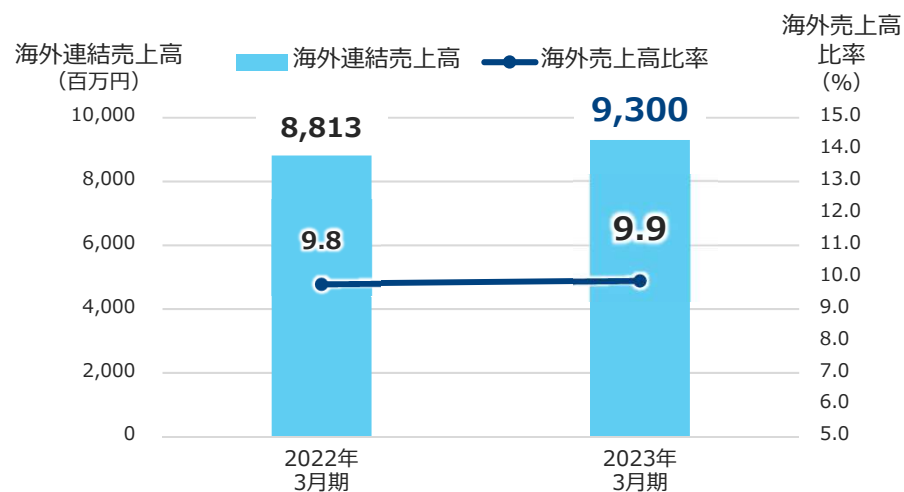
		2022年 3月期	2023年 3月期	
		実績	見通し	前期比
医療事業		89	93	+4%
	国内	47	45	-5%
	海外	41	48	+15%
介護事業		123	129	+5%
	国内	117	123	+5%
	海外	6	6	+10%
健康事業		9	11	+23%
	国内	9	11	+23%
	海外	0	0	0%
その他		—	—	—
合計		220	233	+6%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。

3-7. 海外地域別売上高

インドネシア・中国・インド等の大型市場を拡大

(単位：百万円)	2022.3	2023.3 見通し	前期比
海外連結売上高	8,813	9,300	+6%
海外売上高比率	9.8%	9.9%	-



地域別海外連結売上高

(単位：百万円)	2022.3	2023.3 見通し	前期比
アジア	7,923	8,564	+8%
インドネシア	2,772	3,220	+16%
中国	2,803	2,952	+5%
その他アジア	2,346	2,391	+2%
中東	68	172	+153%
中南米	227	360	+59%
その他	595	204	-66%

3-8. 設備投資等

減価償却は在宅介護向けや病院向けのレンタル資産が増加
設備投資はPCS大規模拠点の開設やインドネシア工場の塗装設備刷新等。

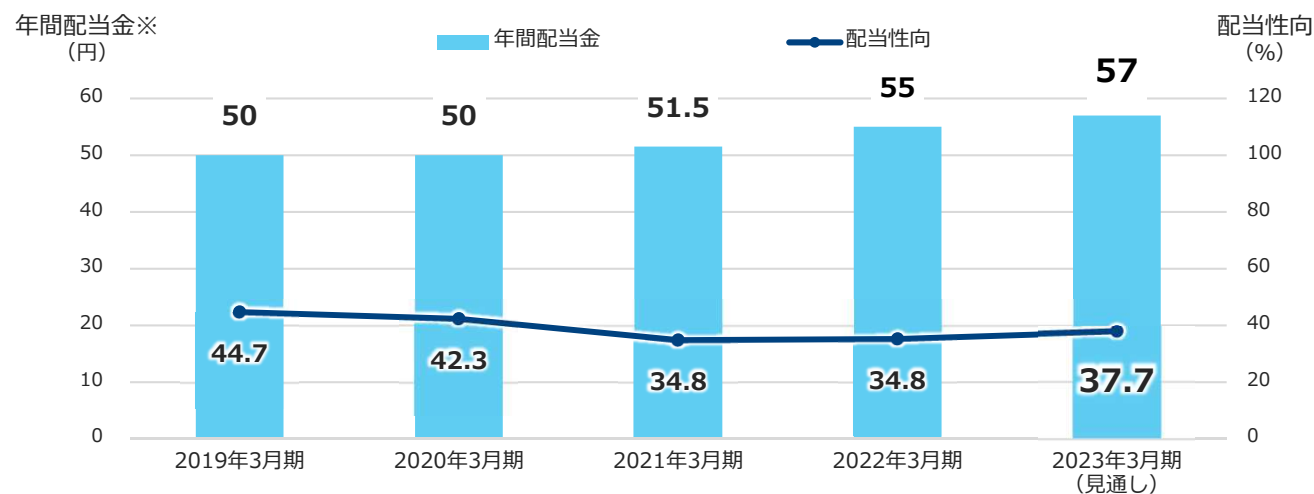
(単位：百万円)	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 予算
設備投資費	3,984	2,976	1,822	3,600
減価償却費	6,895	7,540	7,898	8,463
研究開発費	1,677	1,782	1,697	1,774
従業員数	3,494	3,614	3,682	-

3-9. 株主還元（配当・自己株取得）

基本方針：純資産配当率 2.7%、配当性向 30%を目安に 安定配当

2023年3月期は年間57円を予定。3期連続の増配を見込む。

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 見通し
年間配当金※	50円	50円	51.5円	55円	57円
純資産配当率（DOE）	2.8%	2.7%	2.7%	2.7%	-
配当性向	44.7%	42.3%	34.8%	35.2%	37.7%
自己株取得額	0円	4,382百万円	0円	0円	-



※当社は2021年4月1日を効力日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。
上記は、2018年4月1日に当該分割が行われたと仮定した1株当たりの年間配当金を算定しています。

4. 中期経営計画 第IIフェーズの目標

4-1. 経営理念・長期ビジョン・中期経営計画の位置づけ

企業理念

企業理念

先進の技術とやさしさで
快適なヘルスケア環境を創造します

ステートメント

as human, for human

ビジョン

パラマウントビジョン2030

「医療」「介護」から「健康」まで
すべての人に笑顔を

中期経営計画

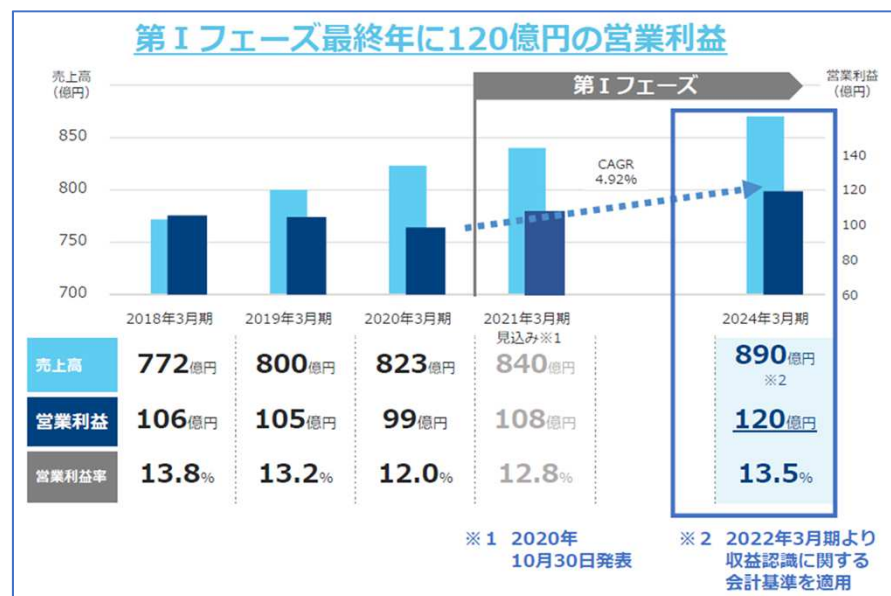
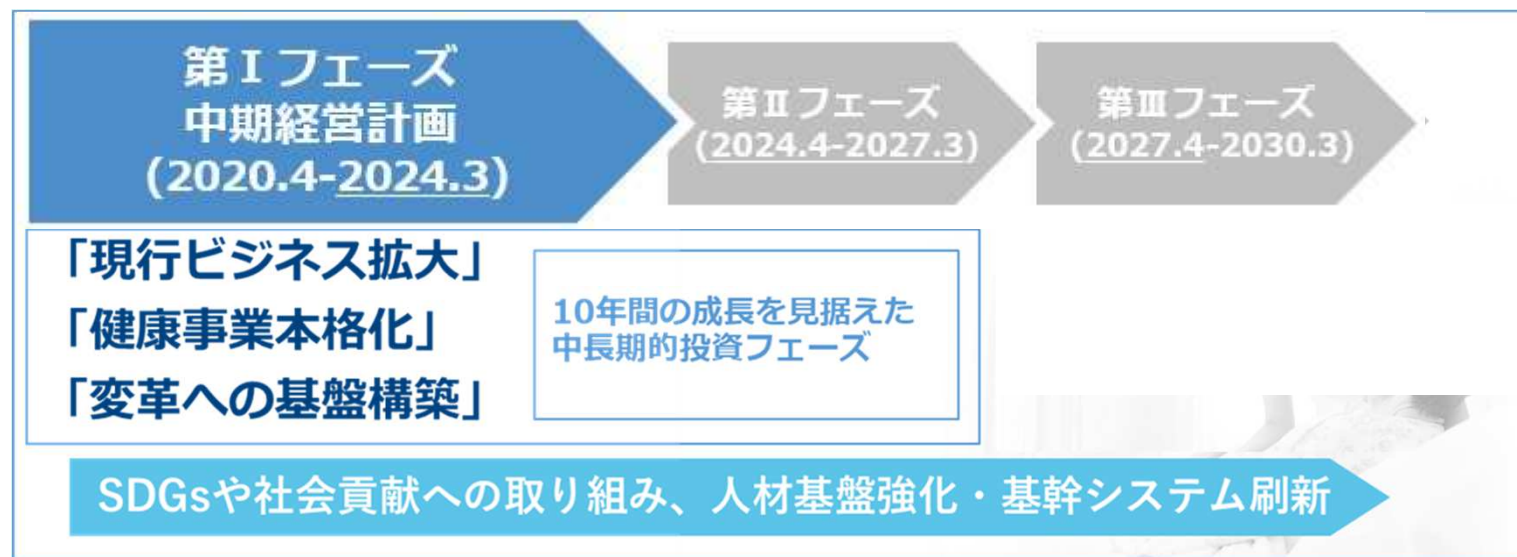
第Ⅰフェーズ (2020.4～2024.3)

第Ⅱフェーズ (2024.4～2027.3)

第Ⅲフェーズ (2027.4～2030.3)



4-2. 第Ⅰフェーズの状況



2021年4月発表資料

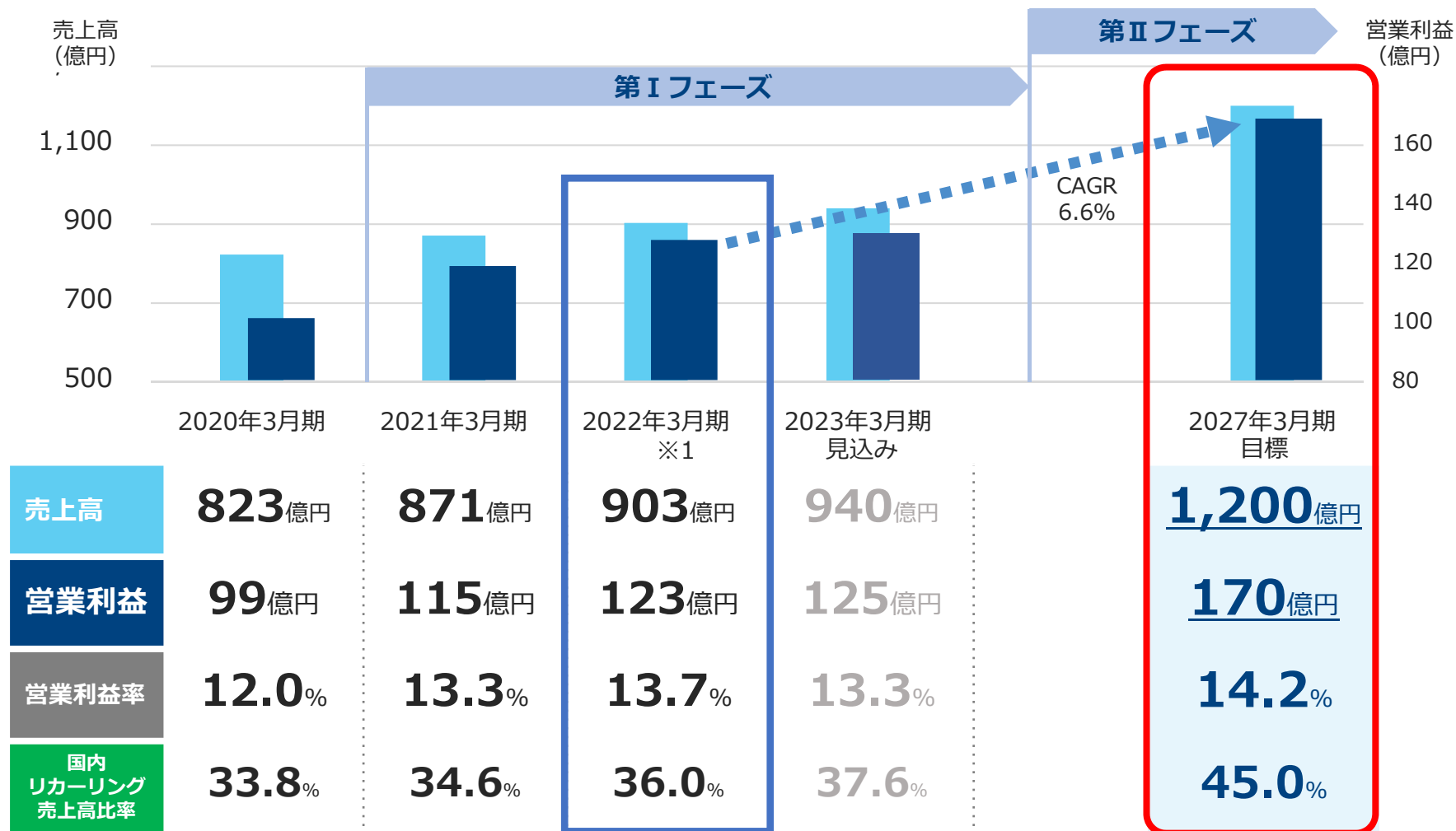
【現況】

・第Ⅰフェーズの業績目標
2024年3月期 営業利益120億 売上890億円を
2022年3月期に超過

第Ⅰフェーズの重点施策を確実に実行するとともに
第Ⅱフェーズの方向性を見据えた活動を

4-3. 第Ⅱフェーズ（2025年3月期～2027年3月期）の業績目標

第Ⅱフェーズ最終年に売上高1,200億円・営業利益170億円



※1 2022年3月期より収益認識に関する会計基準を適用

4-4. 第Ⅱフェーズの方向性・注力ポイント

パラマウントビジョン2030

「医療」「介護」から「健康」まで すべての人に笑顔を

2024.3

2027.3

2030.3

第Ⅰフェーズ重点施策

「現行ビジネス拡大」
「健康事業本格化」
「変革へ基盤構築」

第Ⅱフェーズの方向性・注力ポイント

「リカーリングビジネス拡大」

「健康事業の進化」

「アジア注力エリアでの飛躍」

上記実現のため「他社連携による事業拡大・創造」を



お客様のパートナーとして「なくてはならない存在」へ

SDGsや社会貢献への取り組み、人材基盤強化・基幹システム刷新

4-5. 第Ⅱフェーズの方向性・注力ポイント

「リカーリングビジネス拡大」

- 現在のリカーリングビジネス拡大を加速
福祉用具レンタル卸事業（介護事業）
病院向け常駐サービス（医療事業）
病院向けパッケージレンタル（医療事業）
- センシング技術・AI・IoTなどを活用した
新たなリカーリングビジネスメニューを開発



国内における
リカーリング売上高比率
現在の36%から
45%へ拡大

「健康事業の進化」

- 睡眠改善製品の拡充
- 健康寿命延伸に資する製品・サービス
- 他社とも連携し利用者を拡大



健康事業売上高
50億円超へ拡大

「アジア注力エリアでの飛躍」

- 拠点国における医療ベッドシェアNo.1
- 販売台数増加を支える生産拠点整備
- 年平均売上高成長率10%を目指す



海外売上高
150億円へ拡大

各注力ポイントとも他社連携やCVCを活用して拡大スピードを加速

4-6. 第Ⅱフェーズの業績目標（海外）

連結海外売上高

（単位：百万円）

	2022年3月期 実績	2027年3月期 目標	2022年3月期 実績比
アジア	7,923	13,500	+70%
インドネシア	2,772	4,900	+77%
中国	2,803	4,600	+64%
その他アジア	2,346	4,000	+71%
アジア以外	890	1,500	+69%
合 計	8,813	15,000	+70%
海外売上高比率	9.3%	12.5%	-

4-7. 第Ⅱフェーズの業績目標（事業別）

事業別売上高

（単位：百万円）

	2022年3月期 実績	2027年3月期 目標	2022年3月期 実績比
医療事業	34,230	49,600	+45%
介護事業	52,317	62,900	+20%
健康事業	2,141	5,500	+157%
その他	1,662	2,000	+20%
合 計	90,352	120,000	+33%
営業利益	12,340	17,000	+38%

4-8. キャッシュ配分計画

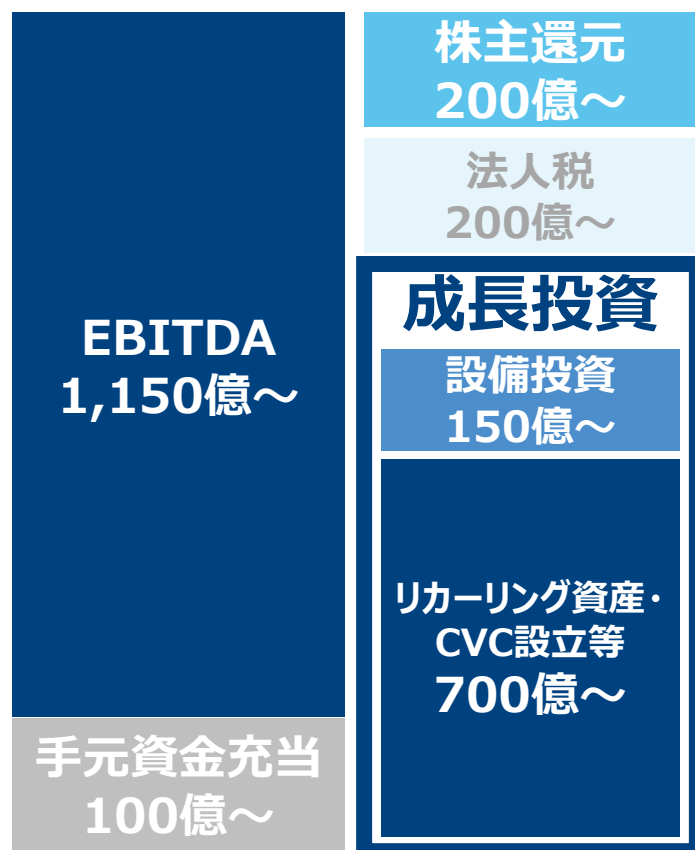
リカーリング資産投資/ベンチャー投資等に重点配分

顧客とのつながりの強化とストック型ビジネスへの転換を目指す

2022～2026年度累計

キャッシュイン

キャッシュアウト



株主還元

純資産配当率(DOE)2.7%と配当性向30%を目安
市場環境等を勘案した機動的な追加還元

成長投資

顧客との継続的な関係を強化するリカーリング資産
生産設備や福祉用具メンテナンス設備増強／基幹システム刷新
事業発展に向けたCVC設立など他社連携を積極的に展開

<手元資金水準の考え方>

月商約3か月分の運転資金

＋ 災害等発生時においても医療・介護に貢献する
製品やサービスを継続的に提供できる体制の維持

5-1. トピックス

SDGs貢献活動を加速

6つのマテリアリティ（重点課題）を策定し取り組みを推進

1. 持続的な医療・介護体制整備の支援



2. すべての人が健康でいきいきと暮らせる環境づくり



3. 製品安全の追求



4. 従業員の健康・ダイバーシティ・働き方改革の推進



5. 環境に配慮した事業活動



6. コンプライアンスの徹底



インドネシアにおける約20ヘクタール規模の マングローブ植林活動を開始

- 取組企業：パラマウントベッド株式会社
- マングローブ植林保全事業を営むワイエルフォレスト株式会社と事業委託契約を締結。
- インドネシア共和国西ヌサ・テンガラ州に約20ヘクタール・5万本規模のマングローブ林「PBマングローブの森」を設置することに。
- 睡眠状況を把握できる電動ベッド「Active Sleep BED」用アプリで貯まるポイントに応じて植林を支える社会貢献型プログラムの一環。
- 最大約2.5万トン相当の二酸化炭素吸収貯蓄量を見込む。
- 放棄されたエビ養殖池に植林することで水産養殖再生も目指す「シルボフィッシュアリー」手法を活用し、自然環境や生態系の回復保全、地域住民の生活向上等への貢献も目指す。



マングローブ林のイメージ。

（ワイエルフォレスト株式会社提供）



5-2. トピックス

医療事業・介護事業向け新製品

抗ウイルスタイプのリバーシブルマットレスを 3月に発売

- 医療・介護業界初の抗ウイルス性と耐薬品性を併せ持つカバーを採用。
- 体圧分散性と動きやすさが選べる
リバーシブルタイプ「エバーフィットC3」と
静止型で最高クラスの体圧分散性を有する
床ずれ防止タイプ「エバープラウド」に採用。
- 2022年3月発売。
- オープン価格。



抗ウイルスタイプのエバーフィットC3マットレス。

5-3. トピックス

介護事業向け新製品

在宅介護向け電動ベッド「クオラONE」を3月に全国発売

- 業界で初めて幅・長さ2タイプずつ合計4タイプのボトムユニットを共通化。
取扱事業者様の運用効率化に寄与。
 - 身体のずれを抑えるワンボタンで背上げと膝上げが連動する機能。
 - スマートフォン操作機能。
 - 家族のスマートフォンに通知する機能。
 - 取扱事業者様向けベッド自動点検機能。
-
- 2022年3月全国発売。
 - オープン価格。



木製ボード(グリップ)タイプ「クオラONE」。

5-4. トピックス

介護事業向け新製品

ベッド設置式介護リフト「エレベオ」を2021年11月に発売

- 当社製在宅介護ベッドに適合（一部機種を除く）。
 - ベッドの高さ調節もできる手元スイッチ。
 - 身体の動きが少ない垂直昇降方式。
 - 介助者の足元にスペースを確保。
 - 緊急停止レバー等の安全装置。
 - エラーや状態レポートをお知らせする音声レポート機能。
-
- 2021年11月発売。
 - オープン価格。



楽匠プラスシリーズに設置した「エレベオ」。

注意事項

本資料に記載した業績等に関する予想数値につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。

従いまして、実際の業績は今後様々な要因により、記載した予想数値と異なる可能性があります。

本資料の金額表示は切り捨て表示しています。

予算比・前期比における％表示は、増減について±記号を用い、四捨五入表示しています。